

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	群馬県
取組市町村名 取組団体・企業名	高崎市立箕郷第三保育園
取組の名称	「いただきます」になるまでを知ろう！
実施時期	令和6年6月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	【ねらい】 自分達が口にする食べ物が、どのようにして食卓に上がるのかを知る 【対象】 年長・年中児 【内容】 子ども達が大好きな「おすし」を取り上げ、『おすしのさかな』の読み聞かせを行いました。 家庭で作る手巻き寿司から、外食先の回転寿司まで、とても身近な食べ物のようで、読み聞かせの反応も良かったです。 『おすしのさかな』は、寿司ネタと海を泳ぐ魚の写真がクイズ形式で載っていて、年長・中児らは皆で相談し楽しみながら読み進めました。 寿司ネタは漁師さんが海で釣った魚だという事は理解出来ているようでしたが、どんな風にして食卓に届くかまでは曖昧だったので、改めて『マグロリレー』を読みました。 春の運動会でリレーを行った年長児らは、バトンをつないで少しずつゴールに向かう事がイメージしやすかったようで、釣り上げられた大きなマグロが順に切り分けられ、沢山の人（漁師さん、市場の人、仲卸ろしの人、運搬業者の人、お店の人等）の手や色々な場所（海、漁船、港、冷凍倉庫、市場、お店等）を経て食卓に上がるという事を理解して、ゴール＝「いただきます」にたどり着くと、『やっと、食べられる～』という安堵の声も聞かれました。 海なし県である群馬県では、漁業は縁遠く、魚を食べる事は好きでも、お皿に盛り付けられるまでにどのような工程を経ているのかよく分からない、考えてみた事がない、という子もいました。 米・肉・魚・野菜等をバランスよく食べながら、育てたり収穫・捕獲したりする人や流通させる人、調理する人等、沢山の人のリレーのおかげで味わう事が出来

	ている事に感謝しながら、心を込めて「いただきます」の挨拶をして、無事にゴール出来た事を喜び合いたいと思います。
--	---